

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度第4回吉川市介護福祉推進協議会		
開 催 日 時	平成30年2月7日(水)	午後7時から	午後7時40分まで
開 催 場 所	吉川市保健センター診察室		
出席委員(者)氏名	飯田大輔委員、相羽直人委員、戸張英男委員、中里繁守委員、村岡礼子委員、浅見文男委員		
欠席委員(者)氏名	堀田聰子委員、川尻詠子委員、酒井一男委員、近江谷キヌ子委員		
担当課職員職氏名	健康長寿部	部長	鈴木 昇
	長寿支援課	課長	櫻井 敬雄
		課長補佐兼高齢福祉係長	大瀧 和寛
		課長補佐兼介護給付係長	石塚 晶則
		介護認定係長	中村 久美
		高齢福祉係主査	木村 みのり
会議次第と会議の公開又は非公開の別	(1) 第7期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(素案)について (2) その他		
非公開の理由(会議を非公開にした場合)			
傍聴者の数	0名		
会議資料の名称	平成29年度第4回吉川市介護福祉推進協議会次第 第7期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(素案) よしかわ地域包括ケア計画(第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画)(素案)に対するご意見の内容とそれに対する市の考え方		
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録		
会議録確認指定者	浅見文男委員 村岡礼子委員		
その他の必要事項	なし		

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局	<p><b>1 開 会</b></p> <p>只今から平成29年度4回吉川市介護福祉推進協議会を開催します。出席人数は10名中6名の委員が出席、過半数に達していますので、議会の成立をご報告申し上げます。飯田副会長からご挨拶をお願いいたします。</p>
飯田副会長	<p>皆様お疲れ様です。私が本日代理で司会進行を務めますので、よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>ここからの司会進行を飯田副会長に申し上げます。よろしくようお願いいたします。</p>
飯田副会長	<p>(傍聴許可の説明、議事録署名に浅見文男委員と村岡礼子委員の2名を決定)</p>
	<p><b>2 議 事</b></p> <p><b>(1) 第7期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(素案)について</b></p>
飯田副会長	<p>議事に入ります。第7期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(素案)の説明を事務局から申し上げます。</p>
事務局	<p>(計画案の説明)</p>
飯田副会長	<p>計画案75ページ以降の説明がありました。皆さん、追加で説明を求めたいところがありますか。</p>
相羽委員	<p>今までも見込みの数値を出していたと思いますが、3期頃のお話で6期、7期ぐらいまで見通していたよりも増加や見込み通りがあれば。</p>
事務局	<p>第6期につきましては、新しく特養がオープンすることがありました。老健施設でも空き状況があり、それが埋まってくる見込などがあり</p>

	<p>ましたので、比較的給付費としては多めにみていました。最終的な結果として、そこから給付が伸びなかった面があったと考えています。結果としてそれが基金に算で示されて、今回の第7期への活用ということになっています。その状況を踏まえて第7期では、国から示された見込み方がありますが、地域の実情を踏まえて見込を立てました。</p>
相羽委員	<p>国の基準は印象としてちょっと厳しめですか。その数式通りというか。</p>
事務局	<p>ルールとしては、第6期の伸び率をそのまま伸ばしていくとトータルになるのが基本です。割りと小さな自治体では、あまり利用のないサービス等で利用者数の増減があるとその影響が大きく出てしまいます。そういったところを、訪問介助やショートステイを少しカウントしています。</p>
飯田副会長	<p>その他いかがでしょうか。</p>
相羽委員	<p>要支援の方のサービスが総合事業にいきましたと話がありました。総合事業のお金の出所は何でしょうか。</p>
事務局	<p>こちらにつきましては、保険料や国、県、市の負担割合は、地域支援事業へ移行しても同じです。財源的なところはこれまでと同様です。</p>
相羽委員	<p>全体の支出が増えてしまうのですか。</p>
事務局	<p>支出の方が増えていくと、それに見合うだけの収入も伸びるということで、保険料などの部分についても増えていきます。</p>
飯田副会長	<p>吉川市は財政安定化基金を使ったことはないですか。</p>
事務局	<p>第2期のときに10万円借りました。</p>
飯田副会長	<p>すると今は、ある程度財政安定化基金は積み上がっているということですか。</p>

事務局	<p>そうですね。基金へ入れていまして、今の見込みでは6億ちょっと数千万円くらいの算になりそうで、そのうち6億円を第7期で活用していく考えです。</p>
飯田副会長	<p>計画の方で見込んでいたサービスが、こちらの見込量に反映されているものはありますか。</p>
事務局	<p>特にその部分は把握していません。</p>
飯田副会長	<p>介護保険料の4,844円は、周辺の自治体と比較するとどんな感じですか。</p>
事務局	<p>今お互いに情報交換しています。だいたい近隣では4,700円から4,900円代になりそうなどところが多いと伺っています。</p>
飯田副会長	<p>5,000円を超えているところも結構多いような印象があります。</p>
事務局	<p>近隣では一自治体が5,000円を超えてきそうだと伺っていますが、比較的この辺のエリアは全国的にみると低い方になるかと思いません。</p>
飯田副会長	<p>他いかがでしょうか。数値のところは大丈夫でしょうか。では続きましてパブリックコメントについて説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(パブリックコメントについて説明)</p>
飯田副会長	<p>パブリックコメントとその考えについて説明がありましたが、いかがでしょうか。意見1に「品質性精神障害」とあるのは、「器質性精神障害」の間違いですか。</p>
事務局	<p>たぶん間違いです。</p>
飯田副会長	<p>これは計画の方を見直すのは、今の2点でよろしいですか。</p>

事務局	はい。それ以外については、今の計画の書かれている内容をある程度読み込むことができるので、大きく修正は加えておりません。
飯田副会長	結構丁寧なご意見を市民からいただきました。それに乗かって何かあれば。
相羽委員	NPOでも地域包括をやってみたいという動きがあったので素晴らしいと思います。今でもこの人数で第三包括もあること自体、余裕もって作っていると話がありましたので、これ以上つくるのもちょっと大変な気がします。今後の人口の増え具合によるかなと思います。今のところNPO法人でも、地域包括の担い手となり得る法律的な縛りはないですか。
事務局	特にNPO法人が駄目ということはないです。企画書を揃えるなどできるのであれば、あとの選択肢も追加で考えています。
飯田副会長	計画見直しのところは、概ね委員会では了承されたものとしてよろしいでしょうか。全体を通して、修正やいただいたご意見も含めていかがですか。
事務局	(欠席委員からの意見を報告)
飯田副会長	追加で主張しておきたい点などがありましたら。今日が最後になりますか。
事務局	計画としてはここで最後です。
戸張委員	パブコメに対しても回答したかたちになっていますので、よろしいかと思います。
村岡委員	ケアマネの役割としてのところで、地域の資源を作るとありますが、そういうのはどこで作っていけばいいですか。私たちが集まっているのは地域包括が主催する会議で、そこで当事者の方と一緒に会議の設置や

	<p>ケアプランのことなども話していますが、新しい何かを作っていく意見を言う場所ではなく、今後その役割を求められるので、その場ができるといいなと思います。</p>
中里委員	<p>この7期の計画は、現時点では認知症などの問題も、今抱えている問題や社会的な問題がこれから出てくる可能性があるので、目標に社会福祉的な計画をもって協議会を設定していくと書いてありますが、そのようにやっていくのですか。介護の協議会を流れに合わせて修正しながら進行していくことはありますか。</p>
事務局	<p>この計画についても3年ごとに見直します。そのタイミングを捉えながら全体の見直しをします。第7期計画を作りまして、来年度以降についてもこの計画の通りに進捗しているかどうかの確認、状況が変化して新たな取り組みの必要性も出てくると思います。それらの点について、来年度以降も数回の会議を開き、皆様方からのご意見を頂戴できればと考えています。</p>
相羽委員	<p>今後何かアイデアがあればやっていきたいと思います。地域の理想像もワンセンテンスでスッキリして良かったです。自分で考える立場も大事だと思います。地域密着サービスで地域巡回が伸びていくと見込んであるので、ありがたいと思います。小規模多機能も是非どなたかが再チャレンジで事業をやっていただければ、絶対必要なサービスだと思います。</p>
飯田副会長	<p>他にいかがでしょうか。介護保険料が4,844円ともありましたが。</p>
浅見委員	<p>計画に対して開きがあるようなら、修正しながらでやっていければということで、我々高齢者としては計画の予算でタイアップしながら手伝えるくらいのことしか考えていません。これがいい悪いは、付度しかないところもあるので、ご了承していただきたいと思います。</p>
飯田副会長	<p>計画案4ページにありますように、地域福祉計画等と連携した計画の推進体制を作っていただければ、他の市町村との差も生まれてくると思います。計画策定にあたって、市役所の職員が街を歩きヒアリングもし</p>

	<p>たのがこの実施体制で有効に生きてくると、なお面白いかと思います。54ページに、これも他の市町村に無いような取り組みが重点テーマとして示され書いてあります。それらを具体的にどうやっていくのかを策定後に問われてくるとと思いますので、期待しています。市民のご意見への返答もそのかたちでよろしいでしょうか。</p>
飯田副会長	<p><b>(2) その他</b></p> <p>その他で何かありますか。</p>
事務局	<p>(今後の予定等について説明)</p>
飯田副会長	<p>このような計画は整合されるとその後見なくなることが多いので、是非委員の皆さんにはずっとこれをモニタリングして、実践されているかどうかチェックすることも大事だと思います。パブリックコメントにもありましたが、農業との連携で返答の仕方として農政担当部局と連携していくと答えもありますが、是非福祉関係部局にとどまらず商工経済や農政など他部局と連携しながら推進体制が図れると、より豊かな自治体になるかと考えていますので期待したいと思います。他に委員の皆さんから何かありますか。これを実施していくことが重要ですので、市役所に丸投げせず皆さんでいい方向に実施していきたいと思います。引き続きご協力をよろしくお願いします。無いようですので、これを持ちまして司会進行を事務局にお返しします。</p>
	<p><b>3 その他</b></p>
	<p><b>4 閉会</b></p>
事務局	<p>今年度最後の会議です。本当に1年間大変ありがとうございました。計画ができて実行することが非常に大切であり、私たちも計画策定にあたって、手探りで今後をどうするか考えていくこともあります。是非皆様からのご意見や、事業実施にあたってご協力いただくと大変ありがたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。それではただいまを持ちまして、本日の会議を終了します。大変ありがとうございました</p>

ました。

(了)

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成30年2月14日

署名委員 浅見文男

署名委員 村岡礼子